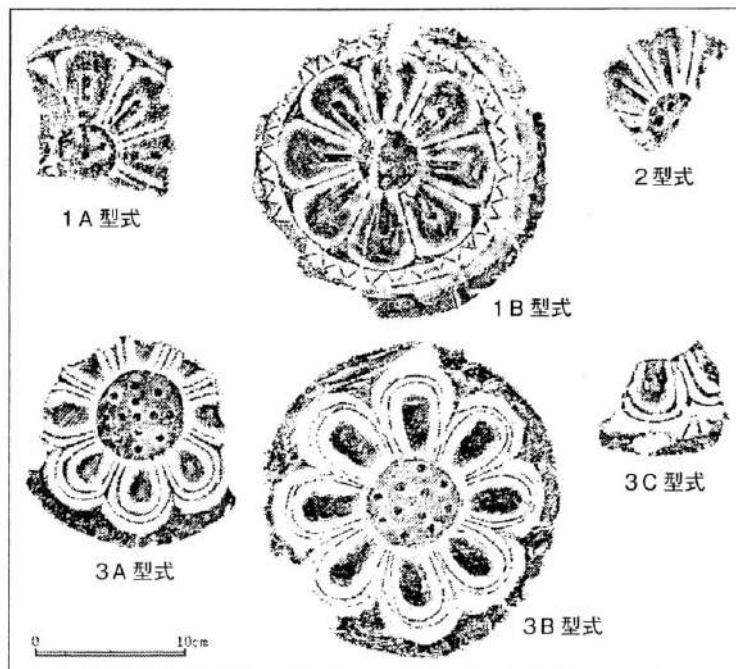
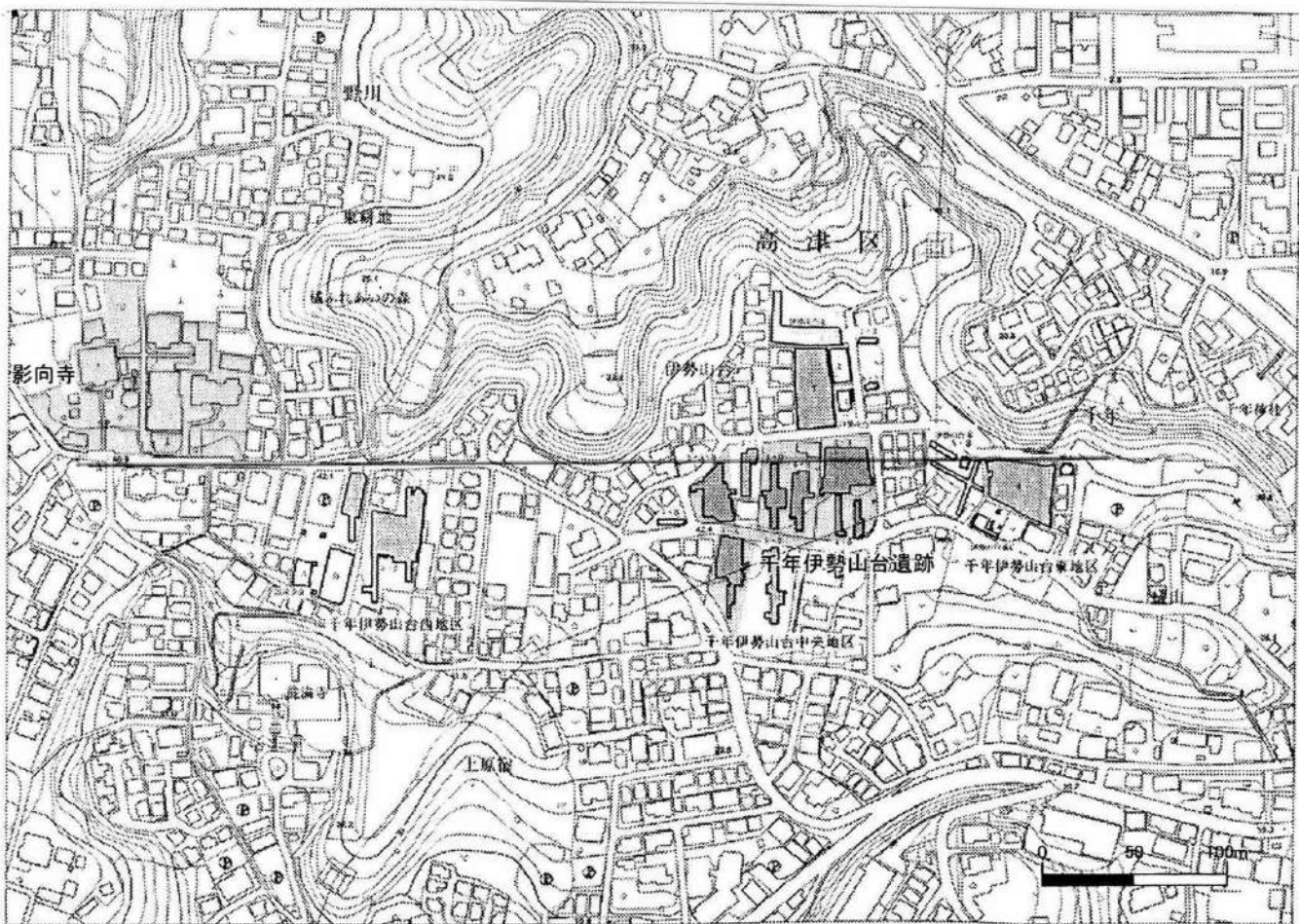


影向寺境内から採集された「都」銘文字瓦
(提供 川崎市市民ミュージアム)

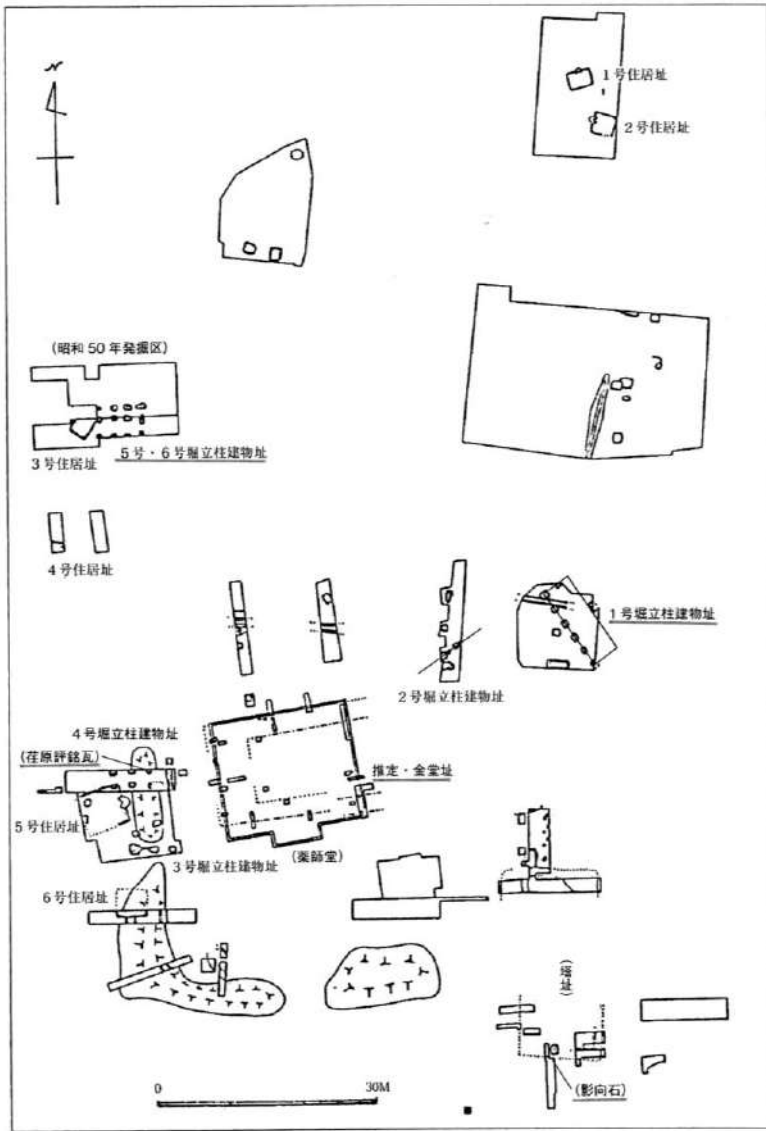


影向寺遺跡発掘の鐙瓦(軒丸瓦)の分類。

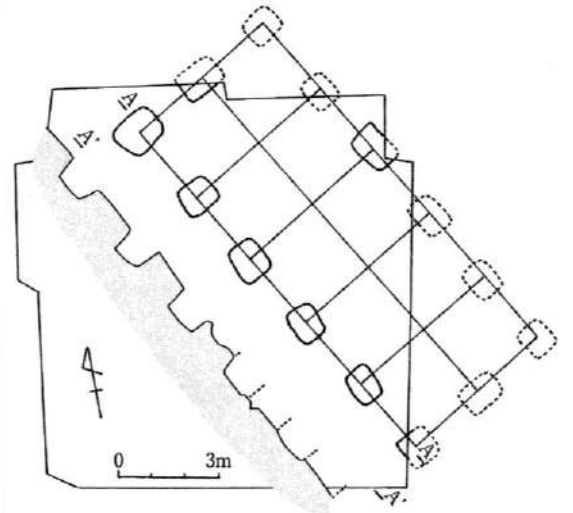


橘樹官衙遺跡群の全体図 (薄いアミ掛け部分が国史跡)

第4図



影向寺遺跡及び周辺の古代遺跡全体図



影向寺阿弥陀堂部分から発掘された1号掘立柱建物跡

第5図

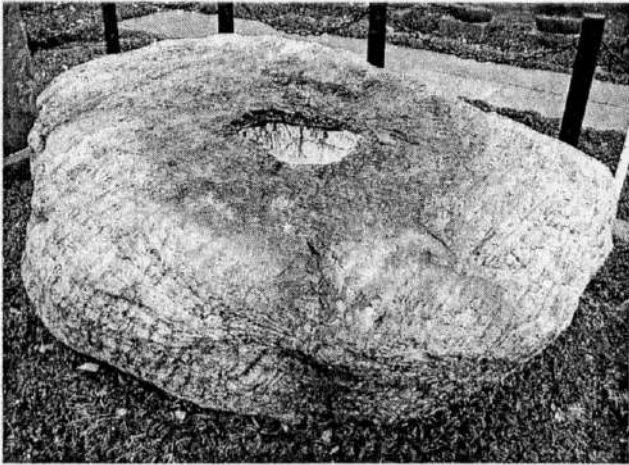


円形の柱座の造り出しがある礎石

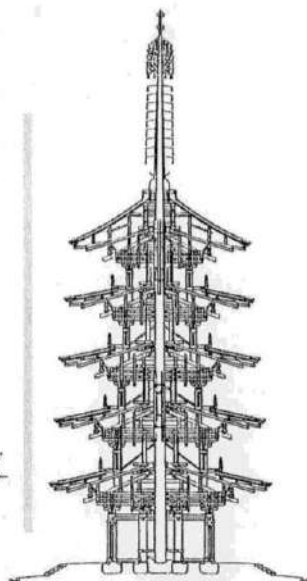
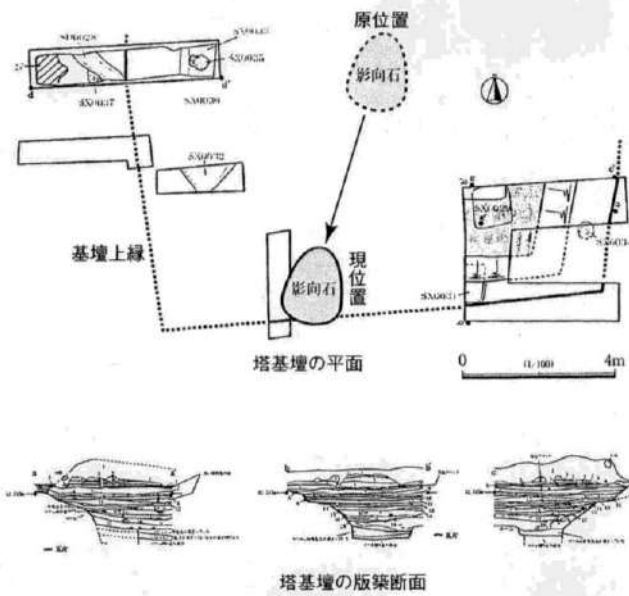


薬師堂(推定・金堂跡)下からあらわれた版築層(撮影・提供 小池汪)

第6図

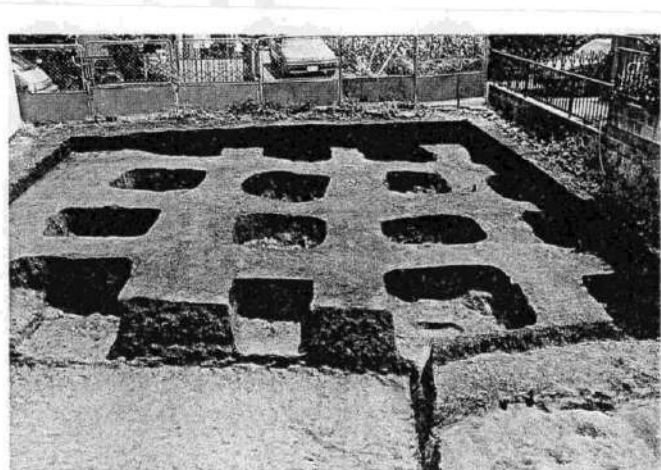
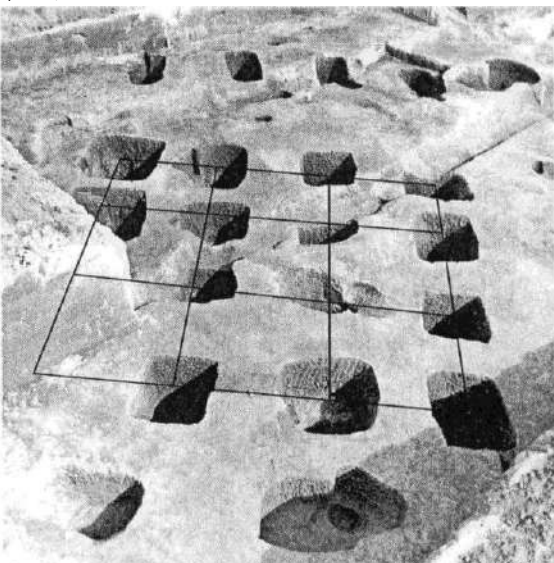


寺名のおこりとなった影向石。実際には塔の心礎石である。



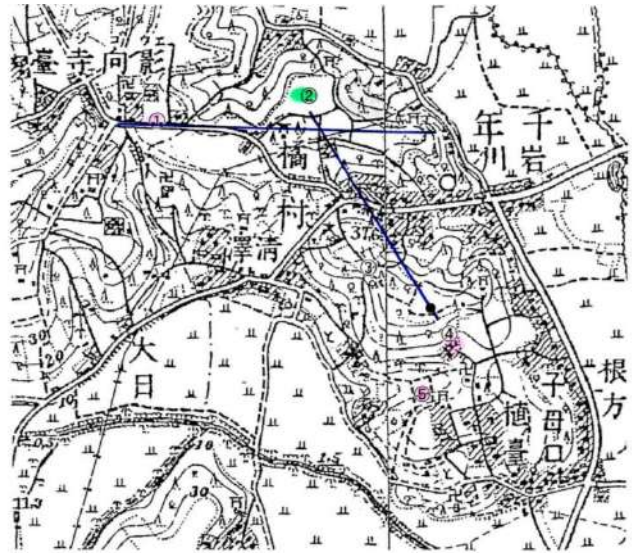
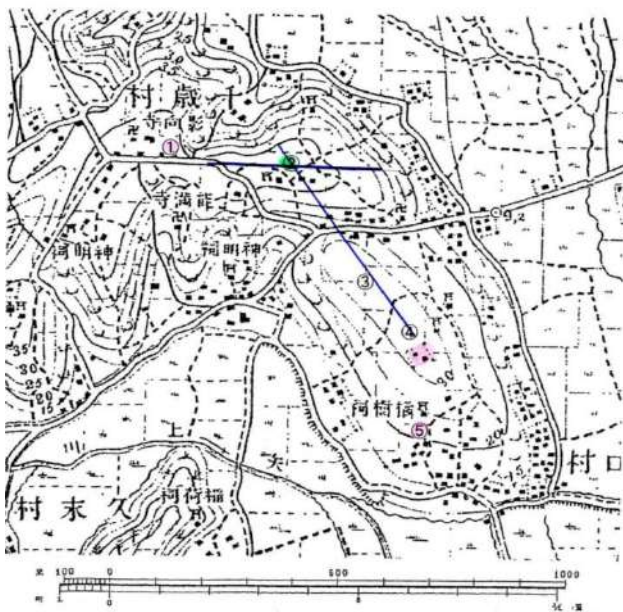
影向石（塔心礎石）の周辺（左）と醍醐寺五重塔（951年）の心柱の断面図（右）。なお、影向寺は三重塔と推測されている。

第7図



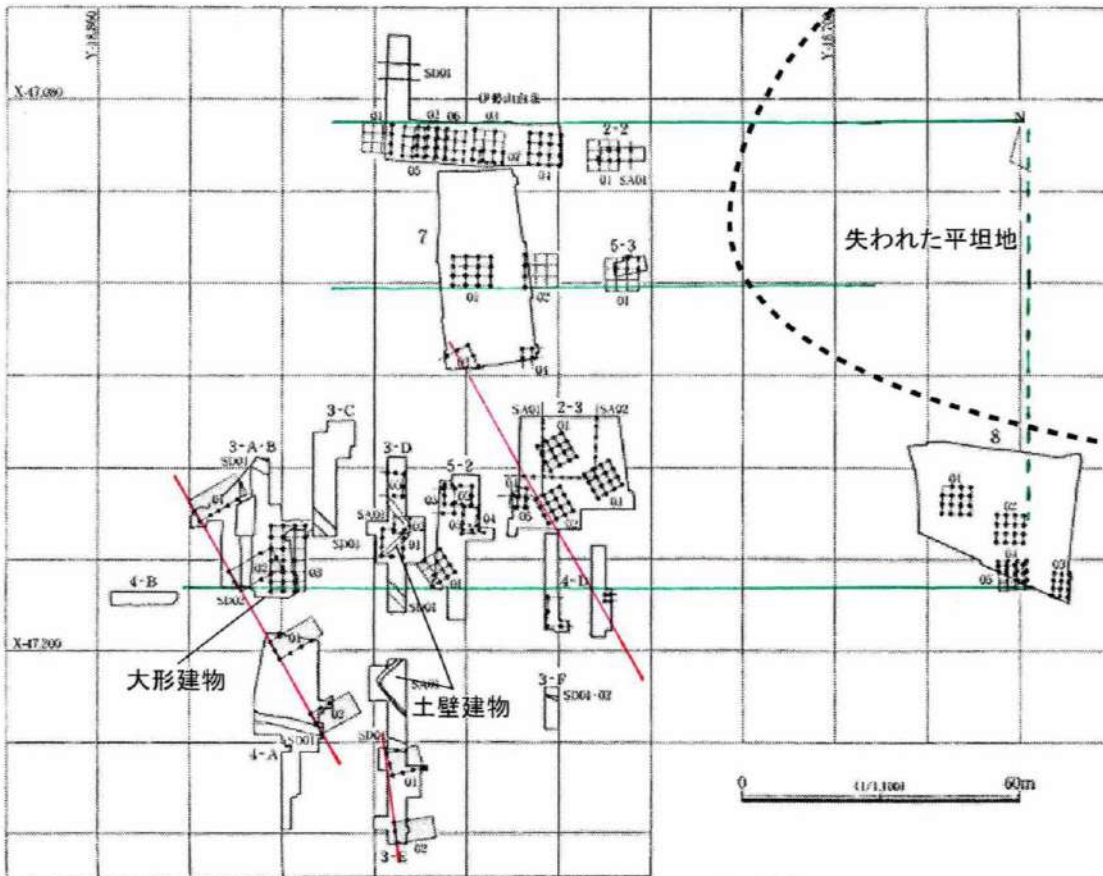
蓮乗院北遺跡（線で囲った部分が、総柱形式の掘立柱建物跡 3間（ま）×3間）

第8図



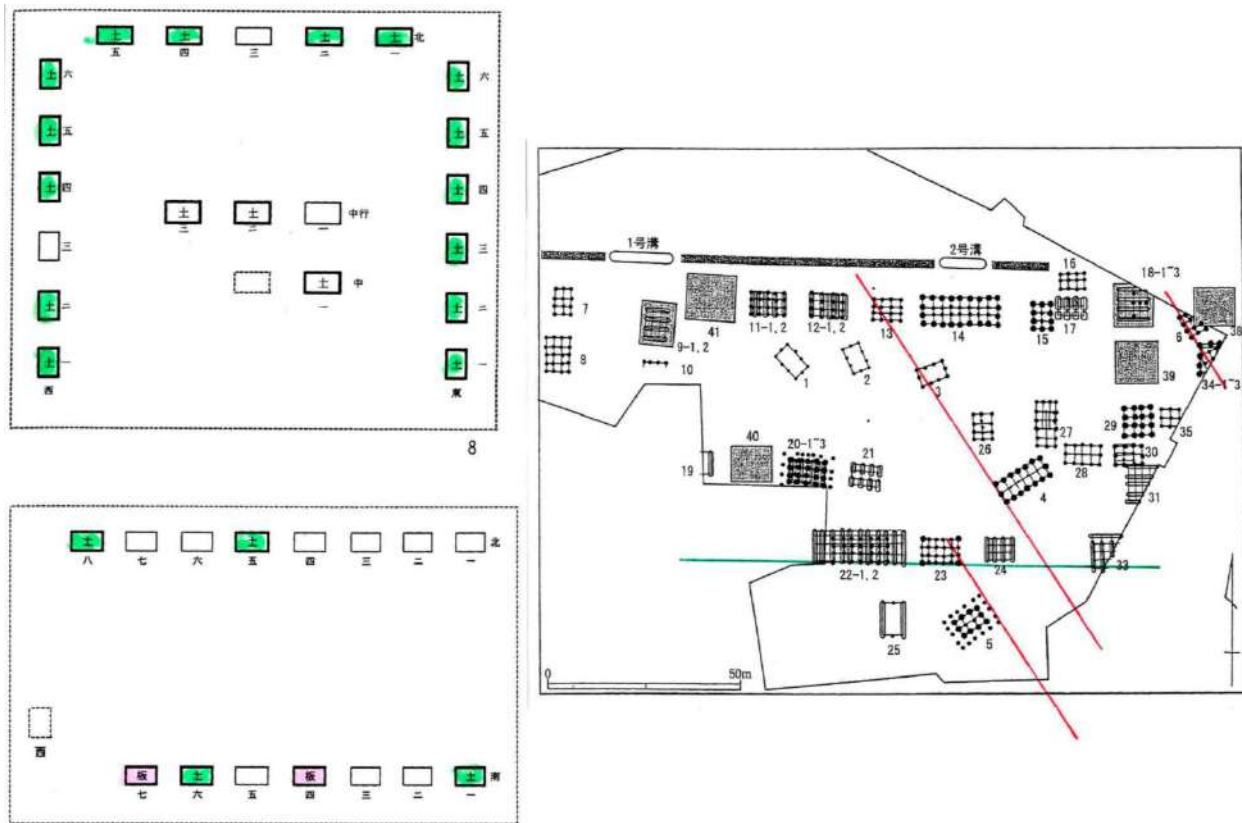
明治14年(1881)(上)と大正6年(1917)(下)の地形図。
 ①は、影向寺、②は千年伊勢山台遺跡(橘樹郡衙跡)、③は子母口富士見台の中心部(政庁跡、小高駅家推定地)、④は古代橘樹神社推定地、⑤は近世以降の橘樹神社位置。●印は子母口富士見古墳。
 (下図千年伊勢山台のアミ部分がガケ崩れした部分)

第9図

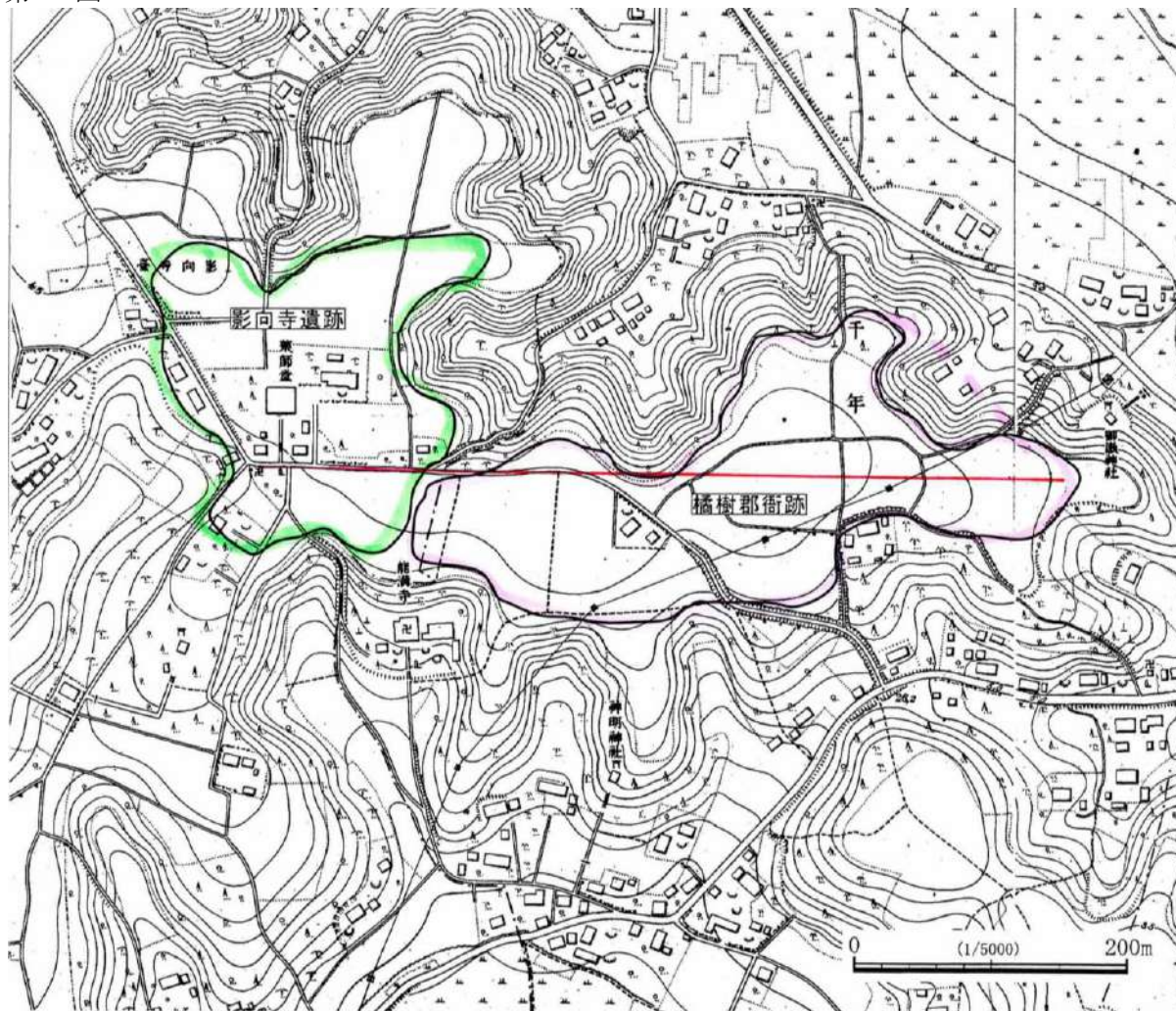


発掘調査された正倉跡の全体図
 (斜め方位の建物は、第Ⅰ期(薄いアミ)、南北主軸の建物(濃いアミ)は、第Ⅱ期。大形建物は管理棟か、法倉か。)

第10図



第11図



橘樹郡衙跡・影向寺遺跡の旧地形 (『川崎地形圖』[川崎市 1942] に加筆)

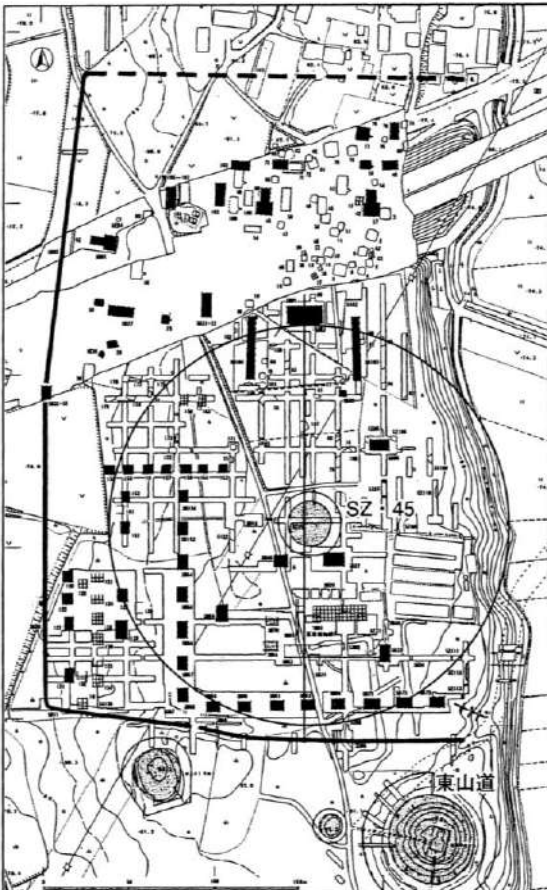
第 12 図



橋樹郡衙・古代影向寺の施設配置推定図

「倉庫令」倉とまると五十丈(約150m)の内に館等置くと得ず

第 13 図



官衙第Ⅱ期(8世紀前半)。官衙として整備充実期(西端に南北に並ぶ4軒の正倉跡は、第Ⅲ期の可能性もある)

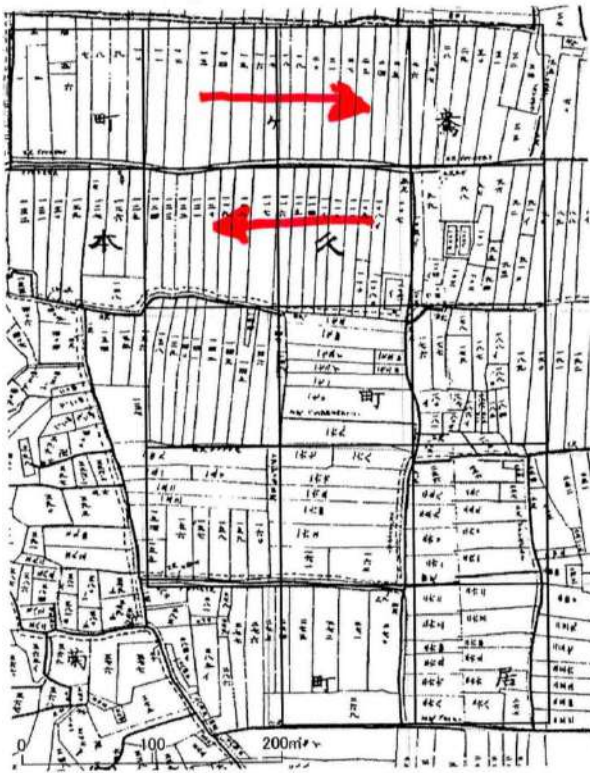


上図を基にした第Ⅱ期の復元イメージ図

上神主・茂原官衙遺跡(その2)

(上三河町・宇都宮市教育委員会資料より)

第14図



高津区久本にのこされていた条里制遺構。
1町(約109m)区画が復元できる。(大正9年製公図)



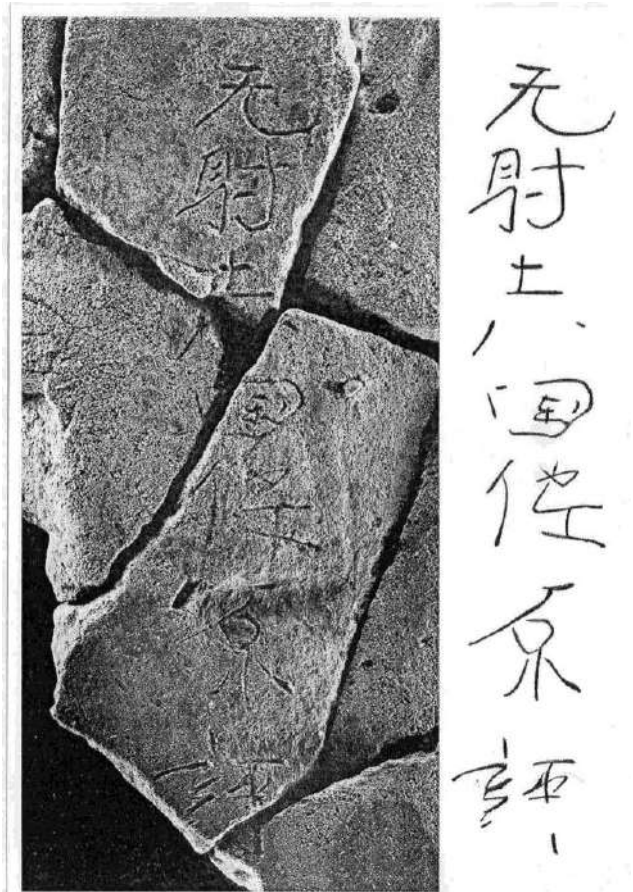
奈良県橿原市域の条里制遺構。
渡辺久雄著『条里制の研究』昭和43年 口絵写真を加工。

第15図



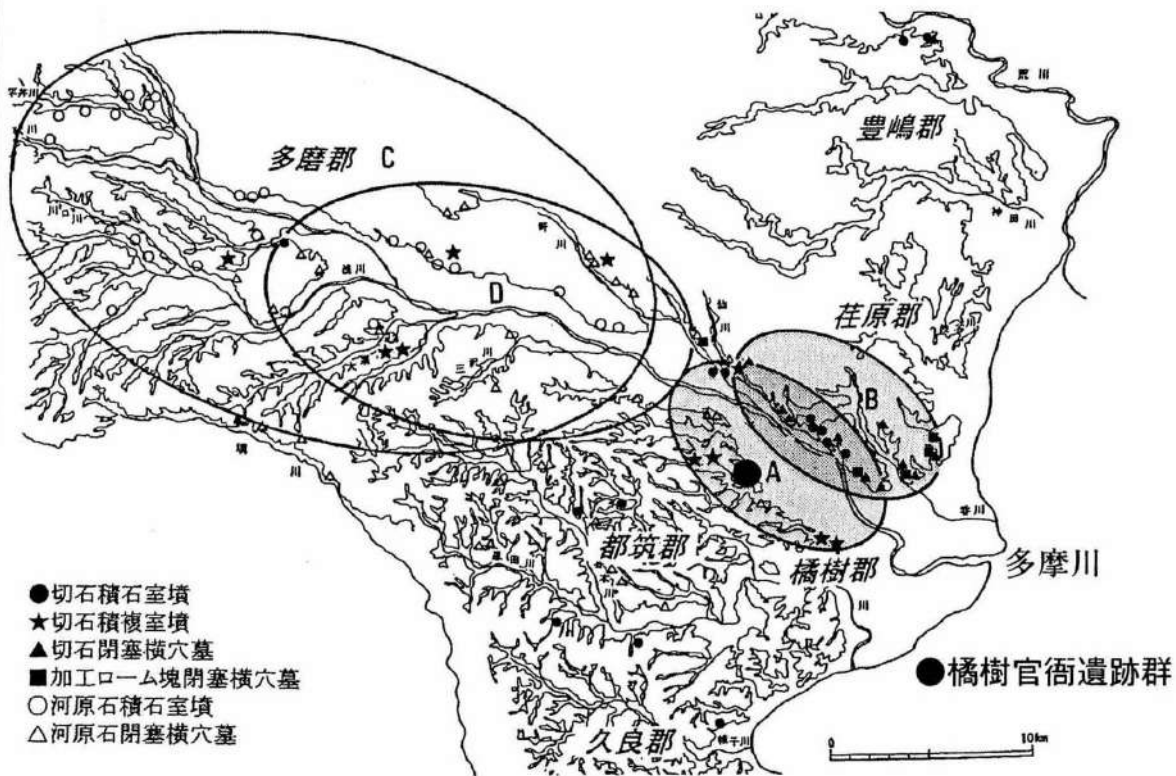
武蔵国橋樹郡の橋樹郷(右)と御宅郷(左)から平城京に貢納された西に付けられていた木簡。
『古代の役所と地域社会』図録より。筆者加工。

第16図



「无射志国荏原評」銘の文字瓦
(写真の撮影・提供、小池汪)

第 17 図



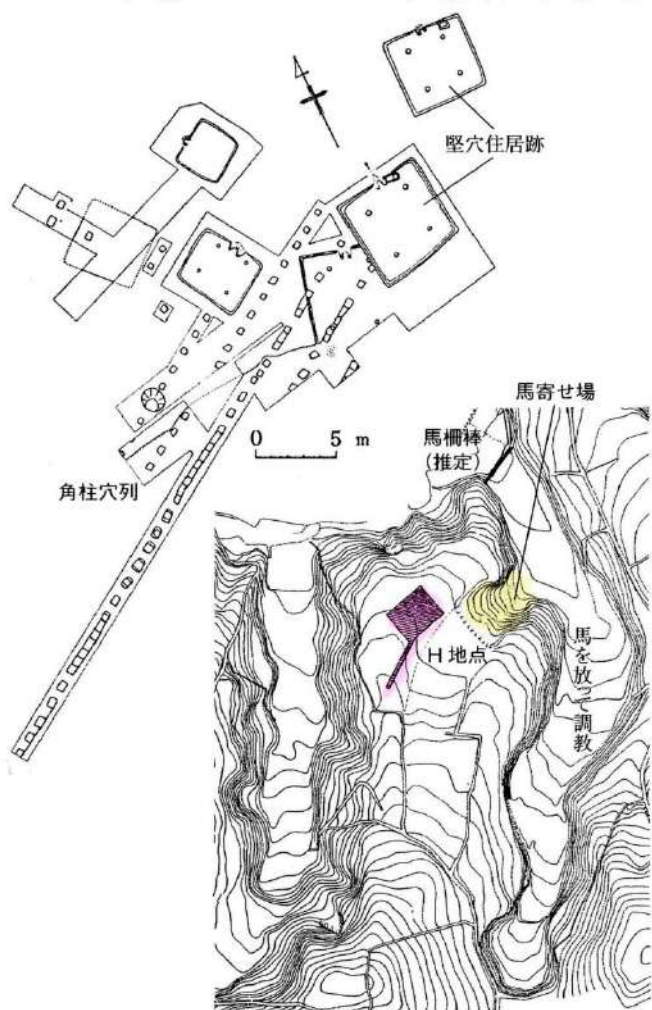
多摩川下流域における石室墳、横穴墓の特徴と橋樹官衙遺跡群（松崎論文を筆者加工）。Aゾーンの橋樹郡（評）とBゾーンの荏原郡（評）が重さなる。

第 18 図



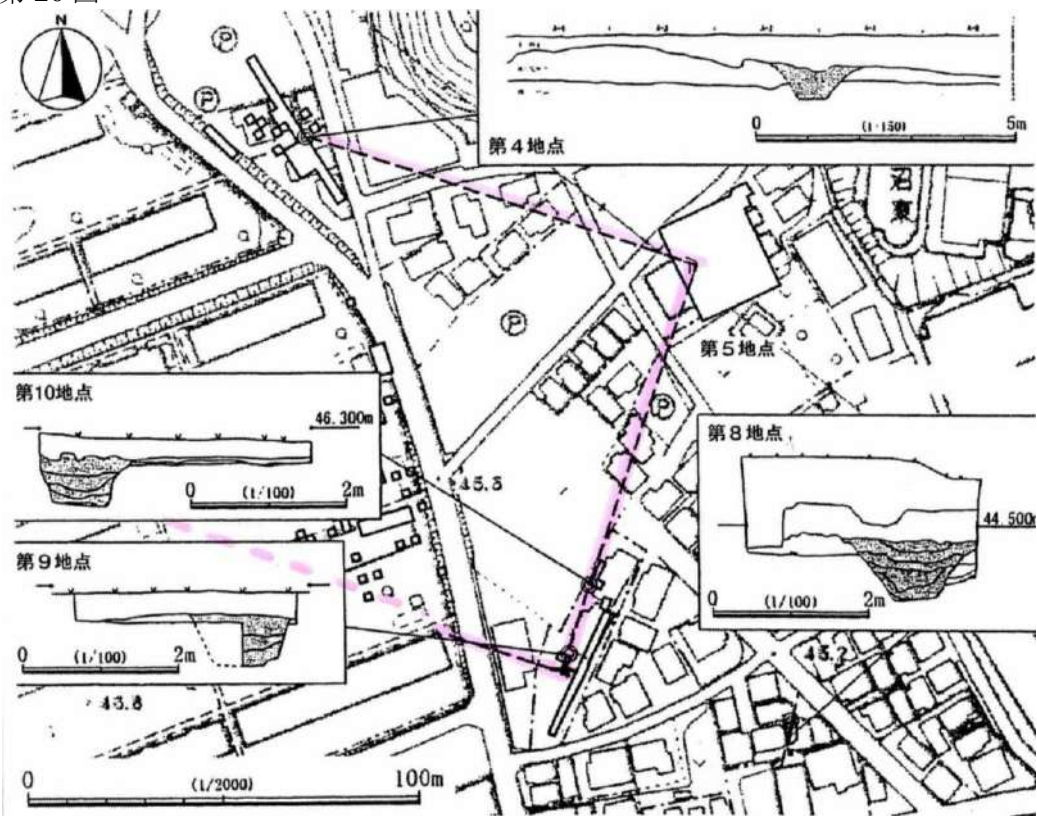
早野横穴墓の奥壁に線刻された疾駆する馬5頭（撮影・提供 小池汪）

第19図



鶴川遺跡H地点の角柱穴列(上)とH地点周辺の地形と推定・馬寄せ場(アミかけ)遺構(下)。上・下図の方角は一致している。

第20図



川崎市野川・十三菩提遺跡の方形区画溝(点線部分)

〔中原区〕
稲毛本御庄

枚か枚か

〔中右記部類〕

卷十六裏文書
宮内庁書陵部所蔵

注進 承安元年田数檢注牧目録事

合田貳佰陸拾〇町捌段佰捌拾歩
(六)(参九)(八)

見作田 町陸段佰捌十歩
(貳佰陸拾貳)

荒田壹町貳〇段

一 本田貳佰陸町陸段参佰〇段 平治元年御檢注定、

除田拾漆町伍段

新御願寺免五町

春日新宮免二町

中司御佃三町〇段 下司免二町五段

兵仕免一町五段 夫領免一町

皮古造免五段 井料田一町五段

定田佰捌拾玖町五段

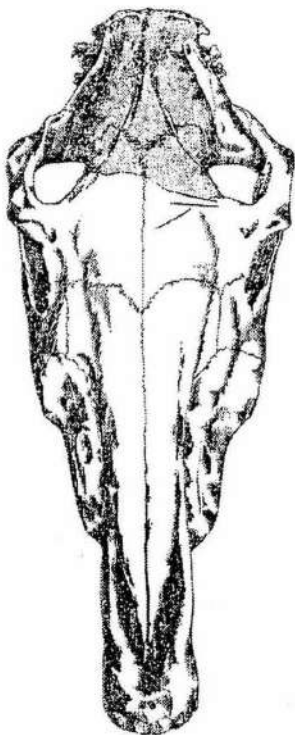
所当御年貢八丈絹参佰漆拾玖疋 町別式疋代

一 新田伍拾伍町陸段貳〇肆拾歩 古作廿町一段半
今年新田卅五町五段六十歩

除田拾参町捌

神田一町二段 稲毛郷鎮守兩所六段 井田郷鎮守三〇段
(小)(中原区)

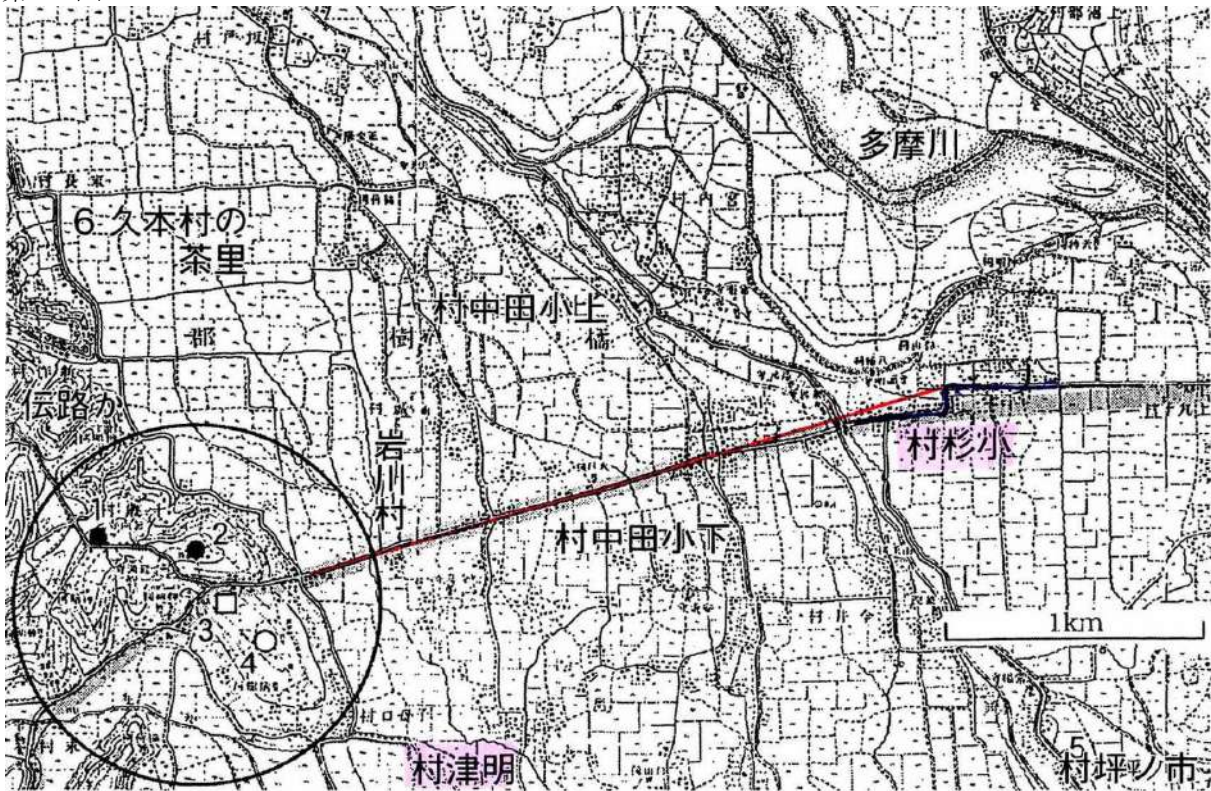
史料1 稲毛本庄檢注目録



大阪府八尾市城山遺跡から発掘された馬骨。アミ掛けの部分半裁されている。(松井論文より)

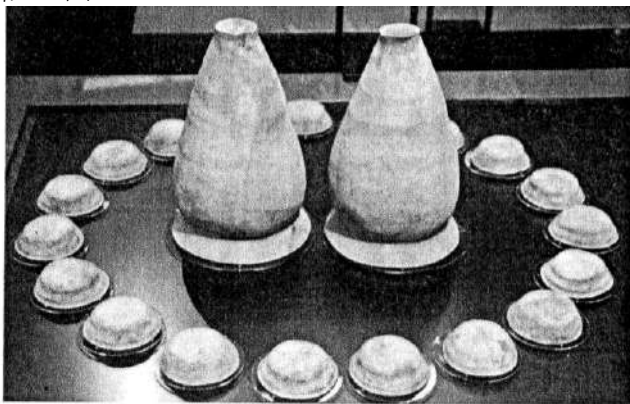
『粉河寺縁起』に描かれた鹿皮を乾かす絵図。(『新版・絵巻物による日本学民生活絵引』第3巻より)

第 23 図

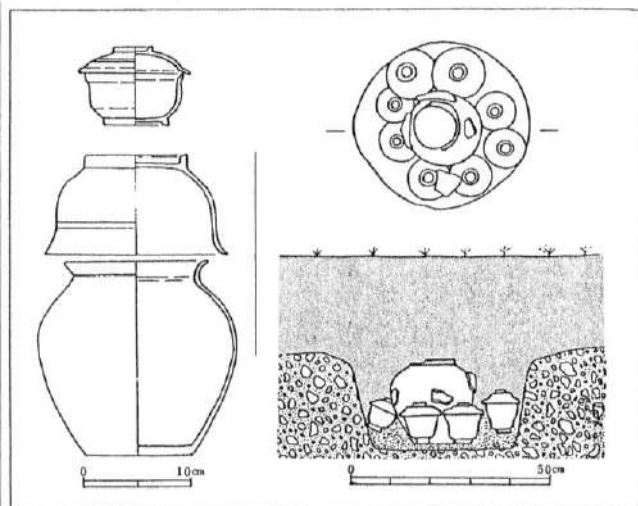


古代橋樹官衙遺跡群の政治・宗教上の舞台と推定・東海道筋（アミ部分）。
 1. 影向寺遺跡、2. 郡の正倉院、3. 推定・小高駅家、4. 推定・郡庁と古代橋樹神社、5. 条里「市ノ坪」村の所在地、6. 久本村の条里

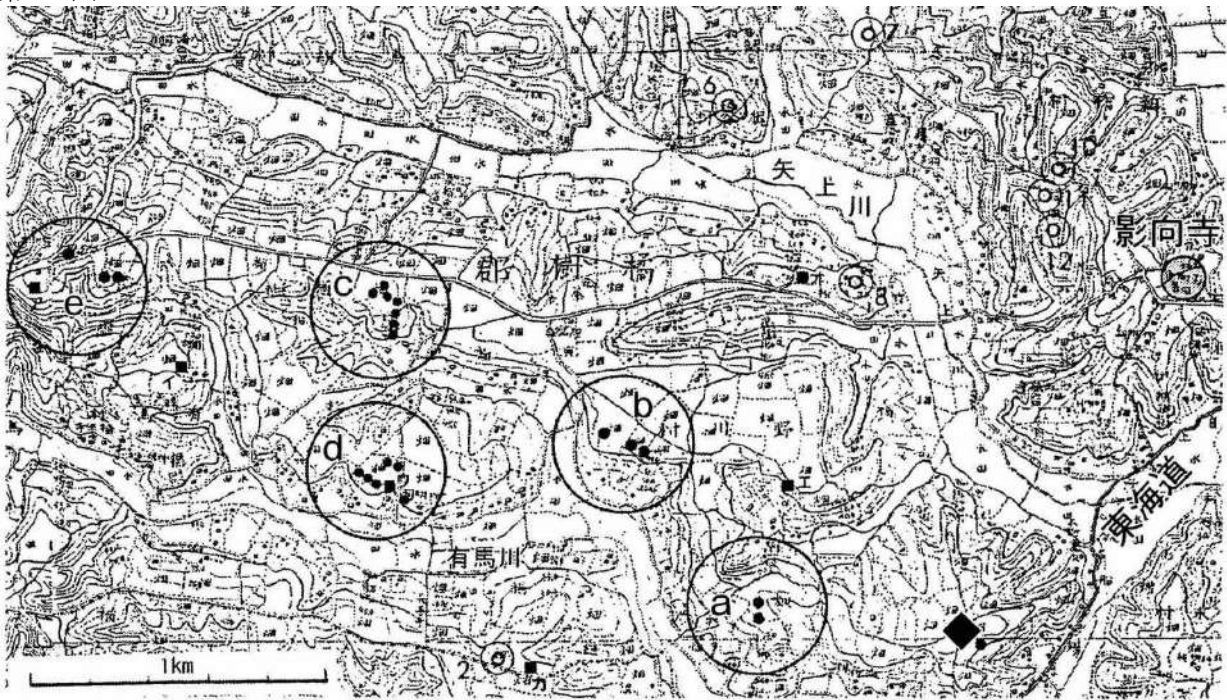
第 24 図



有馬後谷戸古墓発見時の復元状況（川崎市市民ミュージアム）



韓国扶余中井里唐山遺跡・第2号墓の遺構（右）と遺物（左）
 埋葬様式が類似する川崎（上）と韓国（下）の火葬墓



矢上川・有馬川流域の火葬墓 (●) と高塚古墳 (◎) など。〔火葬墓群〕 a・野川南耕地群、b・野川西耕地群、c・有馬後谷戸群、d・有馬台坂上群、e・有馬入山群。〔高塚古墳〕 6・馬絹古墳、7・西福寺古墳、11と12・野川古墳。○・影向寺、◆十三菩提遺跡。

火葬墓群と高塚古墳が矢上川を挟んで対峙し、影向寺は左岸側に位置する。